

中学校
2 年

「平家物語」の現代語訳にチャレンジしよう！

羽曳野市立高鷲中学校

教科

国語

単元名

平家物語「扇の的」

単元の目標

- 表現の特徴に注意しながら琵琶法師がどのように弾き語りをしていたのかを想像しながら朗読する。
(知識・技能)
- 現代語訳を手がかりに作品を読み、平家や源氏などの武士の価値観や生き方について理解する。
(思考・判断・表現)
- 古文や語注などを手掛かりにし、自分なりに本文の現代語訳を行う。(主体的に学習に取り組む態度)

本時で育む主な情報活用能力

G-STEP 4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時のねらい

- ・扇の的の古文を読み、語注や古語の意味を頼りに自分なりの現代語訳をつくらせる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・キャンバを使用し、「扇の的」の古文や語注や難しい古典の意味を事前にのせておき、現代語訳をつくらせる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・クラスルーム ・Canva

本時の展開 (3 / 6 時間目)

学習の流れ	主な学習活動と内容	●指導上の留意点 ○ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5 分)	・本時の展開の流れを確認する。 →班の形になって音読をする・キャンバにのせている古文・教科書の語注・古典単語の意味を確認する。班で分担して現代語訳をつくる。	○Canva には、本文を載せておき、その横に班で考えた自分なりの現代語訳を記入できるようにしておく。 ○現代語訳を作りやすいように、本文の語注の言葉や、難しい言葉の意味などを、あらかじめ載せておき、canva 一つで取り組むことができるようにしておく。 ○Canva を利用する良さとしては、共同編集がしやすいこと、写真など使いやすいなどがある。
展開 (35 分)	・班で教科書 P138～P139 の音読をする。 ・班で、扇の的の現代語訳を考える。 →キャンバにのせている古文・教科書の語注・古典単語の意味を頼りに現代語訳を行う。	
まとめ (10 分)	・本時の学習の振り返りを行う。 ・次回の授業で班同士の作品を見合いながら、比較をさせることを伝える。	○グーグルフォームを用いて本時の振り返りを書かせる。本時の振り返りを書かせることで、どこまで読み込めているのかを確認することができる。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

Canva を活用すると、図や写真が載せやすい等、生徒たちが直観的に操作できる環境が出来上がっています。また、注釈の資料などを一元管理できるのも大きなメリットです。情報を一画面で管理でき、その分、現代語訳を考える時間を多くとることができるので、生徒たちはより課題に向き合いやすい環境ができると考えています。